

エルドラードストーンの施工方法

※推奨適用範囲高さ約3m（それ以上の高所に施工する場合はお問い合わせください。）

ブリック、石の施工に関しては、一般的に採用されている改良圧着工法を説明します。

1 下地の確認

- A コンクリート、ブロック下地の場合
 施工前に接着強度低下の原因となる下地表面の汚れ（ゴミ、ホコリ等）は、刷毛やほうきで取るか水洗い清掃し、必ず除去してください。
 （プライマー塗布の前）塗装や油分については、完全に除去してください。
- B コンパネ等木下地の場合
 1）水濡れしない内装の場合は、木下地のアク止め処理を行った上、改良圧着貼りしてください。
 2）外装下地の場合は、防水紙貼り付けの上、ラスモルタル下地を作成してください。（養生期間2週間以上）

2 ストーン、ブリックの準備（割付）

全体のバランスを見るために、ストーン、ブリックの仮置きを行ってください。大きさ、厚さ、形状、色調が似たものが隣り合わないようし、バランスを事前にチェックしてください。
 （5カートン以上並べることをお勧めします。）
 ※ロットの関係上1カートンごとに施工しますと、バランスが悪くなる場合があります。特に、後工事などの少量の追加工事の際はご注意ください。バランスが良く貼り付けるために、サンダー、タイルハンマー、ニッパーなどで石の大きさを調整する事ができます。



3 下地処理

必ずプライマー処理を行ってください。（プライマーに関しては、各メーカーの指示に従ってください。）

4 ストーン、ブリック接着面の処理

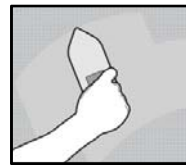
接着剤、モルタルの接着強度を増すため、ワイヤーブラシなどで接着面を目荒らした後に、水湿し、又はプライマー処理を行ってください。

※製品によっては製造過程で裏面にセメントの余剰成分（レイタンス）が膜状に残っていることがあります。この膜は、必ず除去してください。剥離事故の原因になります。



5 接着モルタルの下地への塗布

水湿しか、プライマーを塗布した下地に、接着モルタルを1～2mm厚でしごき塗りをし、その後2～3mm上塗りをしてください。貼り付け前に、接着材が乾かないよう1㎡以上は、塗り広げないようにしてください。



6 接着モルタルの材料への塗布

水湿しか、プライマーを塗布したストーン、ブリックの裏面に中央が厚くなるよう山形状に接着モルタルを塗りつけてください。

